夢と志【学校通信】

平成 26 年 10 月 20 日
第 74 号

西中の風

～『信頼と笑顔、品位を備えた成長』～

伊丹市立西中学校長
豊田　實

教室から流れ出る心地よい歌声

～四日後にせまった合唱祭～

今、ホームページは昨年の優秀賞クラスの合唱曲（トップページ画面ボタンをクリック）を聴けるようにしています。

合唱コンクールをはじめとする文化祭は生徒も、職員も、お世話いただくPTA役員さんも、西中学校関係者が総がかりで準備し、本番を迎えようとしているのです。

『特別合唱練習期間に内包されていること・・・』

▽生徒が主体的であること
▽学級、パートグループなど、リーダー生徒の活躍があり生徒たちに協調性が育まれること
▽伴奏者は夏休みからピアノレッスンを始めて備えてきたこと
▽タクトを振る生徒（指揮者）は堂々とした姿勢で、級友全員としっかりとアイコンタクトします。そして、豊かな感情表現を醸し出そうとすること
▽上、下級生の間（きょうだい学級）で練習期間中にお互いに合唱を披露して気持ちを高めること
▽学級担任は自主研修に集い、音楽科教師から合唱指導法を学び生徒たちにアドバイスしていること
▽上級生はお手本となる合唱をつくり上げること
▽生徒たち一人一人が自らの感性を感じとる体験をすること

合唱祭本番で子どもたちがハーモニーをつくり上げるまでには、緻密な計画と行動があります。

合唱特別練習期間に教育関係者による研修を行います。本日 10 月 20 日、市内８中学校及び２高等学校の教頭先生方、教育委員会関係者が来校されています。本校の特色ある学校経営についての研修です。また、合唱特別練習期間の生徒たちの自主的な活動を見学することも目的としています。

更に、明日 21 日は、高知市立城北中学校からの訪問があり、本校の研究実践（1 年半前まで兵庫県教育委員会指定「ことばの力教育実践推進校」としての現状）を視察されます。教育関係者の訪問の機会には生徒たちにも明確に伝えて、もてなしの姿勢示すことが大切であると教えています。その都度自校の教育活動の点検の機会と捉えています。

文化祭

10/24 合唱コンクール
PTA 制服等リサイクルバザー
骨髄バンク募金活動